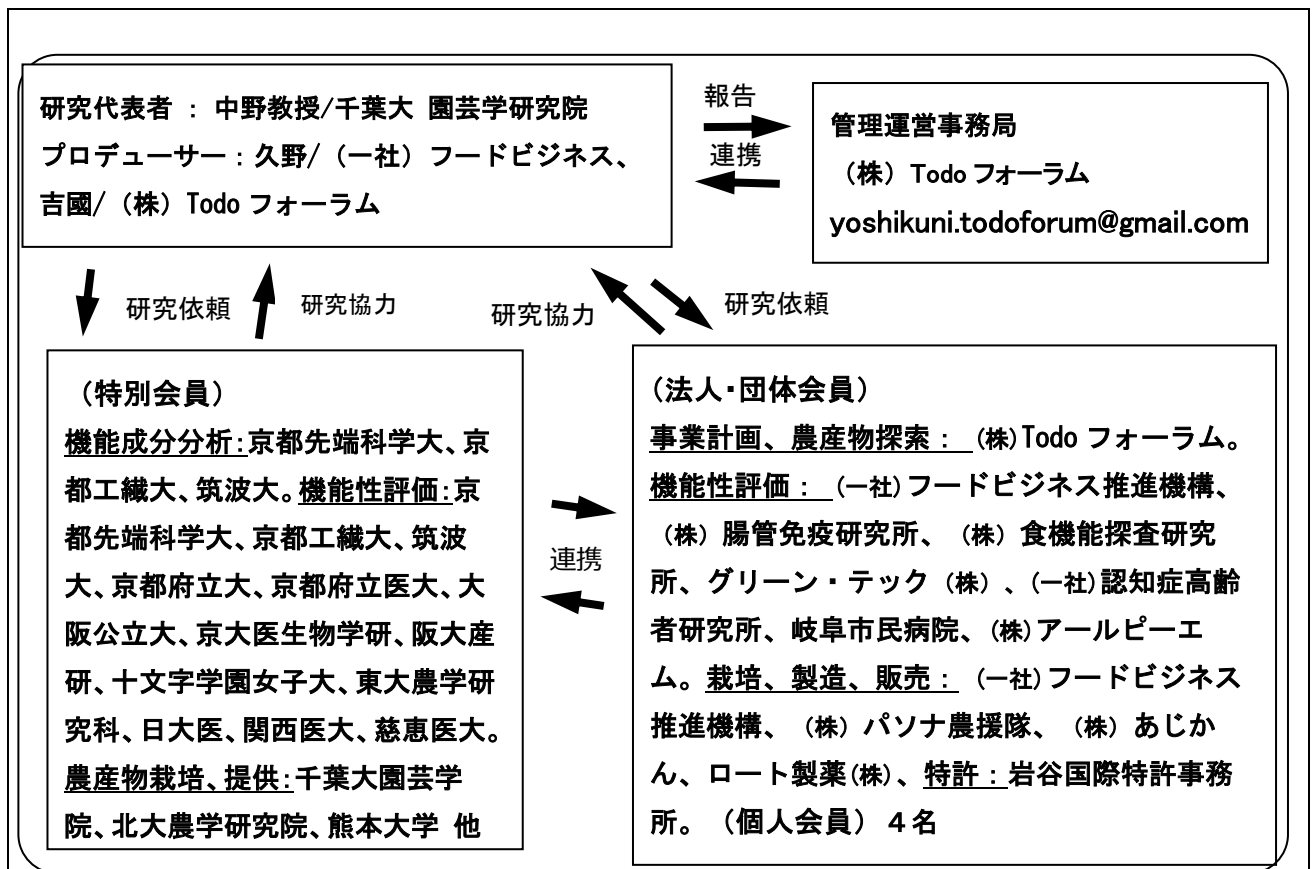


高齢者の健康に資する高機能性農産物の発掘、機能性検証



研究概要と達成目標

これまでの研究で見出している機能性の高い農産物、新規に検討する農産物について、抗酸化作用、 α -グルコシダーゼ阻害、リパーゼ阻害、タウ凝集阻害、アミロイド β 凝集抑制、ヒストン脱メチル化酵素アイソザイム KDM5C 阻害作用を評価する。機能性の高い農産物を選別し、免疫細胞、骨格筋細胞、血管内皮細胞、神経細胞、タウ遺伝子導入認知症ショウジョウバエ、SAMP8 老化促進マウスで機能性を評価する。認知症・フレイル予防効果が期待できる上位2農産物を選別し、機能成分を同定し、臨床研究で機能性を評価する。臨床研究では、腸内細菌叢への影響について調査し、脳と腸の健康への影響を調べる。

開発候補農産物

機能性評価対象農水畜産物：高アントシアニン含有農産物、抗酸化作用、タウ凝集抑制作用、 α -グルコシダーゼ阻害作用の強い農産物（桑、緑茶、シークワサー、ゴボウ、沖縄・京都農産物等）。筋肉増強作用のあるタンパク質高含有量の農水畜産物（大豆、スケソウダラ）。ウイルス糖鎖プロセッシング阻害作用のある農産物（桑葉、桑小枝）、免疫調整作用のある農水産微生物。



新規機能性表示食品を共同研究開発する農産者、食品素材メーカー、販売事業者を募集中。